

# 福音キリスト

No. 87

〒590-0959

日本キリスト教団 堀川尻教会  
堺市堺区大町西三丁一・十三  
☎〇七二一・二三三一・三五三一

「イエスは祈るために山に行き、神に祈つて夜を明かされた。朝になると弟子たちを呼び集め、その中から十二人を選んで使徒と名付けられた。」（ルカ福音書六章）

主イエスはひとり山に登られ、夜を徹して神に祈られました。

主はマタイ福音書六章で祈りについてこう教えておられます。「祈るときは、奥まった自分の部屋に入つて戸を閉め、隠れたところにおられるあなたの父に祈りなさい。」このご自分の教えどおり、主はこの夜ひとり山の上で、天の父なる神に祈られたのです。

この時主イエスは何を祈られたのでしょうか。マタイ福音書の教えの続きで、主は「父は、願う前から、あなたがたに必要なものを存じなのだ。だからこう祈りなさい」と言わせて、「主の祈り」をお教えになりました。「天にまします我らの父よ、願わくは御名をあ

がめさせたまえ、御国を来たらせたまえ、御心の天になるごとく地にもなさせたまえ。」

主イエスはこの夜も「主の祈り」を祈られたのではないでしょうか。すなわち、「天の父よ、この世で御名があがめられるために、御国が来るために、御心がなるために、

がめさせたまえ、御國を來たらせたまえ、御心の天になるごとく地にもなさせたまえ。」しかし神の御心は違つていました。この十二人は、他の誰よりも、救い主キリストの助けを必要とする人たちだったのです。

たとえば、ペトロがいました。

この後主を三度否認してしまった

使徒は、初代教会特有の職務で、

今は無い職務です。今は、私たち

キリスト者全てが、世の人々にキリストの十字架と復活の救いを証しするためには立たれています。

キリストの救いがなければ生きられない罪と弱さを持つ私たちを、

主は証人として用いられます。そ

れはこの世に「主の祈り」が実現するためです。救い主イエス・キリストによつて、この人間の世で

神の御名があがめられ、神の国が到来し、神の御心が成つて全ての

人が救われるために、主は私たち

を用いられるのです。この主の御

トの福音を世界中に広めるための先行部隊・精銳部隊であり、他の誰よりも頭脳明晰で弁が立ち、何があつても挫けない強い精神力の持ち主であるべきだつたと、私たち人間は思うのです。

使徒の使命は、キリストの十字架と復活の証人になることです。

すなわち、世の人々に「キリスト

の十字架と復活によつてこそ人は救われる」と、命を賭けて証しす

るのが使徒なのです。そのような

使命にふさわしいのは誰でしよう

か。それは、他の誰よりも、キリ

ストの十字架と復活の救いを必要とする人です。ですから主は、そ

のような者であるペトロら十二人

をお選びになつたのです。

使徒は、この後主を三度否認してしまった

トロです。また、トマスがいました。この後主の復活を信じず疑つてしまふトマスです。さらに、イスカリオテのユダがいました。主

の裏切る罪を犯すユダです。彼ら

を見つかりわざることは、使

徒たちは、他の人たち以上に、最

も主の憐れみ、主の助け、主の赦

し、主の導きを必要とする人たち

だつたということです。そういう

十二人を主はお選びになつたので

す。なぜでしようか。

## 十二人の使徒

ルカによる福音書六章一二一～一六節

